

## 第 431 回 例 会

22年10月8日

## 本日のプログラム

- ・ソング 「手に手つないで」
- ・卓話 クラブフォーラム
  - 社会奉仕委員会 鈴木 正明 委員長
  - 米山奨学会委員会 榎本 仁 委員長
  - ロータリー財団委員会 玉置 栄一 委員長
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」

## 次回(10月15日)のプログラム

- ・ソング 「手に手つないで」
- ・卓話 花谷 尚嗣 会員
  - 「感じるコミュニケーション」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」

## 先週(10月1日)の例会報告

## ■会長の時間

「Rotary Xmas」の件で社会奉仕の鈴木委員長とともに先月両施設にご挨拶に行ってきましたが、先生との会話の中で子供達の「気持ちや思い」に関する「これは是非知っておくべき」と思った話をしたいと思います。

## ①同じ班の子供達の好みが分かれた場合(乗り物大好きorライド系苦手 or 怖がり)

4人中1人だけ乗り物に乗れず待っている時に、「エエもんあるんやけど 飴ちゃんあげるよ。皆には内緒やで。おじちゃん2人だけの秘密なあ」・・・と例え1個の飴ちゃんであっても、「(1人だけ乗れなくてさみしいではなく)乗れないおかげで、自分だけ特別扱いしてもらった!! 秘密を共有した!!」=「とても大きな嬉しい出来事」として心に残るのです。

⇒施設内の集団生活をしている子供達にとって普段の生活で『特別扱い』されることはなく「みんな一緒」ですので、こうした「ちょっとしたことも特別」、「手に手つないでUSJを歩くこと」や「だっこしてもらおう」のも全て「自分だけの特別」なのです。

⇒子供1人に必ず大人1人以上がついているので、上記「特別扱い」を意識していれば、子供の希望で3:1や2:2に分かれても、問題はなく、「班行動なので皆が同じ行動」をする必要はありません。但し、全て別行動ではなく(常識の範疇で)アトラクションごとに待ち合わせをしながら、なるべく子供の希望を聞いて班行動してください。

## ②お孫さんに接する気持ちで

「甘やかさないで」と言われてもつつい「お父さんには内緒だよ」とお孫さんに色々買ってあげた経験がありがたいと思いますが、正に「自分のお孫さんに接する気持ちで」子供達に接してください。

⇒「ポップコーンを買ってあげるべきか? 班ごとの不公平感がないようにルールを決めましょう」「予算の範囲(ミールクーポン)でないダメか?」という議論がありますが、「自分のお孫さんに・・・」と思えば答えは明らかです。

⇒個々の判断で、工夫したり(昼食のランチボックスは子供優先、大人はドリンクなしや安価な単品etc)、出た分はポケットマネーで補填したり、当日は「甘えたり、わがまま言えるステキな1日」なので、あまり「四角四面」にならず「柔軟に対応」してください。

★施設の先生としては集団生活で「特別扱い」をすることは難しく、子供達はある意味「わがままを言わず我慢して」生活しています。その意味で、この「ロータリーXmas」は、「施設の外にいる信頼できる優しい大人」を独占(1:1ずつと手を握って)できる日なのです。だからこそ「毎年楽しみにしている継続行事(またあのおじちゃんに会えるかなあ?)」で、「甘えOK」「〇〇してもらったんだよ～」と「(些細なことでも)自分だけの特別」を実感できる日なのです。(内緒っていても先生に嬉しそうに報告してくれるようですw)

## ③対象年齢に関して

「高学年より低学年を」という議論もありましたが、中高校生でも「知らない他人(大人)と接するのが苦手or怖い」という子もいます。将来施設を出て社会に出るのに、この「ロータリーXmas」は「信頼できる優しい大人と接する」いい機会なのです。施設の先生方にも色々な思いがあって、選別や班分けをしているということですので、年齢に関係なく前述「お孫さんに接する気持ちで」、「優しく温かく」接しましょう。

【来客紹介】 3名

【出席報告】

22年10月1日(第430回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
27名	1名	20名	6名	76.92%

【幹事報告】

【メールBOXに配布】

1)ロータリーの友(10月号)

2)月間地区出席報告

〔回覧資料〕

1)「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 国連支援募金箱

ニコニコ箱(10月1日)

秋山 千尋 =とうとう中国人を使用している企業にも「いやがらせ」が始まったようです。許せない行為です。

川上 大雄 =只今「人の時間を大切にしよう」運動 展開中です。よろしく!

森本 良嗣 =今日10月1日現在で、全国一斉に国勢調査が行われますが、最近の日本、勢いないようですが。

中井 周治 =昨日は東さんありがとうございました。うどんがすごくおいしかったです。又、行きたいですね。

斧原 邦夫 =阪神、甲子園の最終戦は勝負の厳しさと根性の有り方、平常心の難しさを学びました。

しかしこれによって、より一体感が生まれると思います。

鈴木 正明 =風邪がなかなか治りません。これも年でしょうか?

高野 幸雄 =季節が変わりました。やっと秋らしくなりました!!

尖閣の問題等、きな臭い話が多いですが・・・早期解決してほしいものです。

豊島 秀郎 =中国とか大阪地検とか大きな事件がありました。

吉田 正信 =先週もいろいろありました。

1.妻とベトナム旅行に行きました。楽しかった!

2.宝塚市で宝塚青年会議所 兵庫県・我社(団体)とで、来年の国際大会の記者発表ができました。うれしかった!

【SAA報告】

ニコニコ箱	本日計 9000円	今年度合計 3729616円
-------	-----------	----------------

卓話(10月1日)

「広報委員会より」 高野 幸雄 会員

先に開催されました「国際ロータリー第2660地区 クラブ広報委員長会議」に出席しましたので、内容を報告いたします。

【プログラム】 日時/2010年9月25日(土)13時30分～16時00分 場所/薬業年金会館 司会/委員長 片山 一步

- 1.開会・出席者紹介 司会
- 2.開会挨拶 (ガバナー) 松本 新太郎
- 3.「ロータリーの友 について」 (ロータリーの友・地区代表委員) 井川 孝三
- 4.「2010-11年度地区広報について」 (地区広報委員会委員長) 片山 一步
- 5.「テレビ広報について」 (テレビ大阪株式会社) 佐藤 寛・杉原 哲佑
- 6.「新聞広報について」 (地区広報委員会副委員長) 中島 武
- 7.バズセッション各テーブルリーダー
- 8.質疑・応答
- 9.講評 (ガバナーエレクト) 岡部 泰鑑
- 10.閉会 司会

《報告内容》

まず 司会より出席者紹介(出席者一覧参照)の後、松本ガバナーより開会の挨拶がありました。続いて、

3.「ロータリーの友について」 井川地区代表より・・・

- ・ロータリアンとして、「例会出席」「会費納入」「ロータリーの友購読」は義務である。
- ・日本では、1593年に地区情報の共有を目的に発刊され、1980年にRIより地域公式冊子として公認され、1980年には社団法人ロータリーの友事務所として法人化された。
- ・RI公式冊子であるロータリーの友には、RI指定記事を掲載すること、内容の50%以上がロータリー活動に関連すること、という制約がある。
- ・現在日本国内で10万冊/毎号が発刊され、RI情報や国内外のロータリー活動を紹介している。
- ・購読率の向上に努めて頂きたい。

4.「2010-11年度 地区広報について」 片山委員長より・・・

「会員減少が続く中、その歯止めとしての広報活動には大きな意義がある。

地区内でも 会員減少によるクラブ運営の危機により、来年7月には 住之江・住吉・阿倍野各RCの統合もある。これまでの会員増強戦略を見直すことが必要かもしれない。

『数と質』という根本的に問題に立ち返り、ロータリーのブランド化再構築で『頼まれて入る』から『自ら入りたい』ロータリークラブへの

昇華が必要。

## 5「TV広報について」 片山委員長&テレビ大阪より・・

### (1)告知とブランド広報

- ・告知広報とはクラブ紹介、奉仕日程の紹介等各クラブが広報するもの。
- ・ブランド広報とは「高潔な理想や他者に尊敬されるロータリーブランド」を地区やRIが広報するもの。

と仮に定義し、地区としての役割を模索した。

### (2)ブランド広報の必要性

- ・商社会ではタブーでもあるブランドの安売りはロータリーの品格を貶めるものであり、決して 会員増強につながるものではない。  
Q-大阪ネクスト等のコンセプトと整合??

### (3)ブランド広報の実現を模索

- ・地区としてはブランド広報施策としてTV広報を検討している。とくに「ポリオ撲滅活動」についてテレビ大阪の制作が興味を示している。ロータリーのブランドイメージ向上をコンセプトとして、

①未来の子供達のため出来る事への気づき。 ②社会奉仕活動団体であるRCの認知度向上。

を目的として「ポリオフリーの世界を実現する・・・」というメッセージ性の高い番組とする。

早ければ来年3月の番組も考えられる。またテレビ大阪30周年事業に絡めても考えられる。 ・この場合はテレビ大阪からの助成もあり得る。何れにしても30分～1時間番組の制作費・電波料等として1000万～1500万円の費用発生が見込まれる。

- ・これに対して、地区の広報予算は50万円であり、費用の捻出が懸案。

### (4)ブランド広報の継続化

- ・ブランド広報には継続性が必要であり、一発屋ではならない・・という問題点もある。これについては 今後も審議が必要。

### (5)協賛CMの募集等

- ・費用の捻出方法には色々案があるが

企業の協賛CMを募集する。1口/100万で10口～15口集まれば可能。

会員寄付を募集する。地区会員全員であれば2000円程度徴収すれば可能。 等々を検討していく必要がある。

何れにしても 皆さまの意見を集約した形で実行できるように 後日 各クラブに案内するので検討して頂きたい。

## 6「新聞広報について」 中島副委員長より・・

- ・昨年度実績としてサンケイ新聞40回掲載、ラジオ大阪8回放送、サンケイ関西(ネット掲載中)
- ・新聞では個人や個人的活動紹介が限界、クラブ活動の告知等は特定団体扱いで広告行為。
- ・ただし、サンケイ関西(ネット)では ロータリー活動を継続掲載中、紹介したい記事はガバナー事務所まで。
- ・現在の地区広報委員会予算は50万円、5万円程度が委員会開催費用、残金でサンケイ関西での掲載維持。→広報の継続化??

## 7.バズセッション テーブルリーダー/IM5組ガバナー補佐 山田 崇雄氏(北梅田RC)

- ・ブランドとは社会からの認知が必要。現在どの程度の認知があるのか?  
先ずは、その調査が必要・・・世間から見たロータリーとは??

## 8.質疑応答

- ・IM5組テーブルからは上記のバズセッションの内容を発表。

### 他テーブルより

- ・広報活動の必要性は認識するが、TVでの効果に疑問。またポリオ活動だけでいいのか?
- ・サンケイ新聞の掲載、ラジオ放送もほとんど聞かれていないのでは?
- ・NHK報道等により、ポリオ生ワクチンの投与による感染例が問題視されているがいかがなものか?
- ・費用に関して私企業の協賛はいかがなものか?

### 質疑回答

- ・事前調査については必要性を感じる。検討する。
- ・TV広報の実行の是非については後日の案内による反響も考慮して決める。
- ・新聞、ラジオについてはロータリアンに聞いてもらうものではない。一般の方々に視聴して頂ければよい。
- ・日本国内で生ワクチンによる感染例がppm単位で発生している事例は承知している。  
しかし、第三国で劇的に効果をあげている事実もあり、活動事体を否定できない。  
生ワクチンでよいのか高価な不活性ワクチンにするのかは財団等で議論してもらいたい。
- ・費用の分担についても後日の案内の反響により検討する。

## 9.講評 岡部ガバナーエレクト

- ・会員増強、退会防止のために広報活動が有意に実践されるように。
- ・TV広報は 地区委員会の一つの案であり、各クラブの意見を聞きながら進めたい。

閉会

### 【私見】

上記のように地区の進める広報活動に対して各クラブ、各組での意見は様々。調整には時間がかかるのでは？

個人的には、1000万以上のお金を使って、マスメディアで・・・というのは時期尚早の感あり。事前調査含めて、実効性や内容吟味が必要と考える。

また、質疑にあがったポリオに関する生ワクチンでの感染事例については恥ずかしながら知識なく、大きな問題では・・・と感じた。

**大阪ユニバーサルシティRC** URL:<http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai:[ucrc@osaka-ucrc.org](mailto:ucrc@osaka-ucrc.org) 創立:2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL:070-5020-6459

会長:斎藤清貴 幹事:三宅一郎 会報担当:大橋高志 例会:毎週 月曜日12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか